

人口減少ワークショップまとめ 【教育部会】

部会	自然増・社会増の区分	くくり	記載のあった番号	自然増							社会増						記載内容				
				若い世代の経済的安定	妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援	子ども・子育て支援の充実	仕事と生活の調和の実現（働き方改革）	中山間地域等における「小さな拠点」（多世代交流・多機能）の形成	地方都市における経済・生活圏の形成	安心な暮らしの確保	人口減少等を踏まえた既存ストック（空き家・施設等）の強化	住民が地域防災の担い手となる環境の確保	地域経済雇用戦略の企画・実施体制の整備	地域産業の競争力強化	地方への人材環流、地方での人材育成・雇用対策	地方移住の推進		地方教育機関（高校・大学等）の活性化	企業の地方拠点強化、企業等における地方採用・就労の拡大	その他	
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯		
教育			-																	人間は基本的に「生活にゆとりがあるか・ないか、生活できるか・できないか」を考える。「その町で生活できるか」が重要。	
教育			-																	結婚で呼び寄せれば社会増、子どもが生まれれば自然増。自然増・社会増の線引きが難しい。	
教育	自然増	子育て、出産	2		②															産婦人科医の確保。(2)	
教育	自然増	子育て、出産	2		②															子育て&出生費用のさらなる援助。	
教育	自然増	子育て、出産	2,3,14		②	③											⑭			出産・子育て支援。(幼保、小中、地元高校)。出産費用は支援があるが、育てるための費用の支援を。※教育環境の充	
教育	自然増	子育て、出産	2,3		②	③														子ども医療費。	
教育	自然増	子育て、出産	1	①																高校生までの医療費無料化。	
教育	自然増	安心な暮らし	4				④													仕事と生活の両立。企業に対し休みがとれるように促す。(介護、孫の世話、ボランティア、子どもの用事)	
教育	自然増	安心な暮らし	-																⑯	結婚！！(結婚相手を探すことを促進する)	
教育	自然増	安心な暮らし	7							⑦										ひとり暮らしでも安心！！定年後は親と住む。(実家に帰る)。そのためのリフォーム、バリアフリーの費用を補助する。	
教育	社会増	若者、雇用、定住	12												⑫					奨学金を活用した学生(卒業後地元で働く学生)の奨学金返還を支援。	
教育	社会増	若者、雇用、定住	13																⑬	子育て世代の地方移住の推進。	
教育	社会増	若者、雇用、定住	1,13	①																住宅支援。	
教育	社会増	若者、雇用、定住	10,11,12										⑩	⑪	⑫					企業、起業支援。	
教育	社会増	若者、雇用、定住	10,15										⑩							企業への雇用促進援助。	
教育	社会増	若者、雇用、定住	10,15										⑩							仕事を探している人に、就職先と住宅のセット提供。	
教育	社会増	若者、雇用、定住	1,8,13	①															⑬	Iターン、Uターン、若者への定住促進金、定住促進住宅。	
教育	社会増	若者、雇用、定住	15																	⑮	宿泊施設の誘致。
教育	社会増	若者、雇用、定住	10,12,15										⑩		⑫					⑮	雇用の創出と就労の拡大。
教育	社会増	若者、雇用、定住	15																	⑮	1次産業から加工施設(いろいろな特産品加工の一元化)。そこで雇用を拡大、世界へアピール。世界の人口70億が加速し100億にすぐなる。
教育	社会増	若者、雇用、定住	6						⑥											核となる産業の発掘と成長。美幌の特産品を加工する施設と連携。	
教育	社会増	若者、雇用、定住	14																	⑭	高校の間口を維持する。(平成30年～3減)。逆に増やす！！
教育	社会増	若者、雇用、定住	-																	⑯	外国人の呼び込み。